



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社

上場取引所 東

コード番号 6590 URL <https://www.shibaura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 圭吾

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 今井 晋二 TEL 045-897-2425

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有（当社ウェブサイトに決算説明資料を掲載予定です。）

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	20,013	△7.0	2,850	△29.9	2,921	△28.3	1,938	△32.5
2026年3月期第1四半期	21,512	25.6	4,064	32.4	4,074	29.9	2,874	25.6

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 1,958百万円（△25.2％） 2026年3月期第1四半期 2,618百万円（7.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	29.54	—
2026年3月期第1四半期	43.83	—

（注）当社は、2026年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	95,658	53,606	56.0	816.68
2026年3月期	100,876	55,592	55.1	846.95

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 53,606百万円 2026年3月期 55,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	60.00	—
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	0.00	—	64.00	64.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は、2026年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	99,000	12.4	16,000	4.8	15,700	5.4	11,900	6.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	69,859,500株	2026年3月期	69,859,500株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	4,220,530株	2026年3月期	4,220,500株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	65,638,985株	2026年3月期1Q	65,576,715株

（注）当社は、2026年3月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、半導体業界においてはA I 需要の高まりに牽引され、A I に関連するロジック/ファウンドリ向け、メモリ向けなどの設備投資が堅調に推移しました。一方、パワーデバイス向けは低調に推移しました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、前年同期に比べ、半導体後工程は生成A I 需要を背景に好調に推移し増加した一方、半導体前工程は顧客の投資計画の変更などで減少したことにより、全体では20,013百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

利益面では、半導体後工程が好調に推移し増加したものの、半導体前工程の売上減少及び成長投資に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより減少し、全体では営業利益が2,850百万円（前年同期比29.9%減）、経常利益が2,921百万円（前年同期比28.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,938百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

なお、受注高は、半導体前工程・後工程ともに増加しました。特に半導体後工程では、生成A I 需要を背景に先端パッケージ向け装置が前年同期に比べ大幅に増加しました。この結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は51,975百万円（前年同期比190.5%増）となりました。

②セグメントの業績について

(ファインメカトロニクス部門)

売上高は、半導体前工程では、顧客における投資計画の見直しや、一部案件の納入時期変更に伴う進行スケジュールの調整を行った結果、当初計画から売上の一部が第2四半期以降へシフトするなど、前年同期に比べ減少しました。なお、本件は時期要因による一時的な影響であり、現時点では通期業績見通しへの影響はないと見込んでおります。F P D前工程では、市況の影響により前年同期に比べ減少しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ減少し、8,679百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

セグメント損失は、半導体前工程での売上減少及び成長投資に伴う販売費及び一般管理費の増加などにより115百万円（前年同期はセグメント利益1,688百万円）となりました。

なお、受注高は、半導体前工程ではロジック/ファウンドリ向け装置、シリコンウェーハ向け装置ともに堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。F P D前工程では、引き続き市況の影響を受け低調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、13,987百万円（前年同期比61.1%増）となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

売上高は、半導体後工程では生成A I 用G P Uの需要増に伴い先端パッケージ向け装置が好調に推移し、前年同期に比べ増加しました。F P D後工程は前年同期と同等になりました。真空応用装置は低調に推移し、前年同期に比べ減少しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増加し、10,376百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

セグメント利益は、半導体後工程の売上増加により増益となり、3,101百万円（前年同期比28.5%増）となりました。

なお、受注高は、半導体後工程では生成A I 用G P Uの更なる需要増に伴い、先端パッケージ向け装置が好調に推移し、大幅に増加しました。F P D後工程及び真空応用装置の半導体分野向けでは、市況の影響を受け低調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が大幅に増加し、37,098百万円（前年同期比366.5%増）となりました。

(流通機器システム部門)

汎用自販機の売上が堅調に推移したものの、主力の券売機の売上が低調に推移しました。この結果、売上高は500百万円（前年同期比39.7%減）、セグメント損失は43百万円（前年同期はセグメント利益65百万円）となりました。

(不動産賃貸部門)

不動産賃貸収入は計画どおり推移し、売上高は456百万円（前年同期比0.3%増）、セグメント利益は95百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

なお、当社の海外連結子会社の業績は従来「ファインメカトロニクス部門」に計上しておりましたが、より実態に即した集計を行うため、当第1四半期連結会計期間より「ファインメカトロニクス部門」及び「メカトロニクスシステム部門」それぞれに計上する方法に変更しており、前年同期との比較及び分析は、変更後のセグメント区分に基づいております。

（2）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,218百万円減少し95,658百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3,354百万円、機械装置及び運搬具が1,075百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が5,107百万円、未収入金が3,813百万円、建設仮勘定が1,061百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,231百万円減少し42,052百万円となりました。これは主に、前受金が2,277百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が2,516百万円、未払法人税等が1,162百万円、未払費用が952百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,986百万円減少し53,606百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により1,938百万円増加した一方で、配当金の支払により3,944百万円減少したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,345	24,699
受取手形、売掛金及び契約資産	31,257	26,149
電子記録債権	455	458
商品及び製品	2,856	3,073
仕掛品	9,736	10,643
原材料及び貯蔵品	612	595
未収入金	5,038	1,224
その他	405	397
貸倒引当金	△241	△201
流動資産合計	71,466	67,040
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,313	38,373
減価償却累計額	△22,257	△22,506
建物及び構築物（純額）	16,055	15,866
機械装置及び運搬具	13,202	15,007
減価償却累計額	△7,969	△8,699
機械装置及び運搬具（純額）	5,233	6,308
工具、器具及び備品	2,083	2,201
減価償却累計額	△1,562	△1,621
工具、器具及び備品（純額）	520	580
土地	119	119
リース資産	187	193
減価償却累計額	△133	△135
リース資産（純額）	53	58
建設仮勘定	3,219	2,158
有形固定資産合計	25,202	25,092
無形固定資産		
特許権	523	526
その他	295	287
無形固定資産合計	818	813
投資その他の資産		
投資有価証券	609	609
長期前払費用	48	48
繰延税金資産	2,489	1,804
その他	242	249
投資その他の資産合計	3,389	2,712
固定資産合計	29,410	28,617
資産合計	100,876	95,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,838	10,321
電子記録債務	2,342	2,625
短期借入金	7,700	7,700
1年内返済予定の長期借入金	900	900
リース債務	17	22
未払法人税等	1,989	827
未払費用	5,582	4,630
前受金	3,687	5,964
役員賞与引当金	192	76
受注損失引当金	14	14
製品保証引当金	275	307
その他	2,494	1,509
流動負債合計	38,034	34,898
固定負債		
リース債務	38	38
退職給付に係る負債	3,702	3,611
役員退職慰労引当金	39	38
修繕引当金	322	318
資産除去債務	68	68
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	7,249	7,153
負債合計	45,284	42,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	6,939	6,939
利益剰余金	41,803	39,797
自己株式	△2,207	△2,207
株主資本合計	53,296	51,290
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	941	997
退職給付に係る調整累計額	1,354	1,318
その他の包括利益累計額合計	2,296	2,315
純資産合計	55,592	53,606
負債純資産合計	100,876	95,658

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	21,512	20,013
売上原価	12,881	12,158
売上総利益	8,631	7,855
販売費及び一般管理費	4,566	5,004
営業利益	4,064	2,850
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	0	0
為替差益	22	69
その他	58	58
営業外収益合計	82	131
営業外費用		
支払利息	27	35
その他	43	25
営業外費用合計	71	60
経常利益	4,074	2,921
税金等調整前四半期純利益	4,074	2,921
法人税、住民税及び事業税	646	294
法人税等調整額	554	687
法人税等合計	1,200	982
四半期純利益	2,874	1,938
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,874	1,938

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,874	1,938
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△261	55
退職給付に係る調整額	5	△36
その他の包括利益合計	△256	19
四半期包括利益	2,618	1,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,618	1,958

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

保証債務

当社の従業員の住宅資金借入金に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
従業員	1百万円	1百万円
計	1	1

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	554百万円	1,102百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,703	8,523	829	455	21,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	27	—	30	65
計	11,711	8,551	829	485	21,578
セグメント利益	1,688	2,413	65	99	4,267

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,267
全社費用(注)	△161
その他	△31
四半期連結損益計算書の経常利益	4,074

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	8,679	10,376	500	456	20,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	18	—	30	56
計	8,687	10,395	500	487	20,069
セグメント利益	△115	3,101	△43	95	3,038

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,038
全社費用（注）	△184
その他	68
四半期連結損益計算書の経常利益	2,921

（注）全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社の海外連結子会社の業績は従来「ファインメカトロニクス」に計上しておりましたが、より実態に即した集計を行うため、当第1四半期連結会計期間より「ファインメカトロニクス」及び「メカトロニクスシステム」それぞれに計上する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
S P E (半導体)	10,808	8,054	—	—	18,863
F P D (Flat Panel Display)	421	179	—	—	600
その他	473	289	829	27	1,620
顧客との契約から生じる収益	11,703	8,523	829	27	21,084
その他の収益	—	—	—	428	428
外部顧客への売上高	11,703	8,523	829	455	21,512

(注) 「その他」の区分は、自動販売機・自動券売機等を含んでおります。

また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

財又はサービスの種類別に分解した顧客との契約から生じる収益は以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
S P E (半導体)	7,825	10,025	—	—	17,851
F P D (Flat Panel Display)	364	54	—	—	419
その他	489	296	500	26	1,312
顧客との契約から生じる収益	8,679	10,376	500	26	19,583
その他の収益	—	—	—	430	430
外部顧客への売上高	8,679	10,376	500	456	20,013

(注) 1. 「その他」の区分は、自動販売機・自動券売機等を含んでおります。

また、「その他の収益」は、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入です。

2. 当社の海外連結子会社の業績は従来「ファインメカトロニクス」に計上しておりましたが、より実態に即した集計を行うため、当第1四半期連結会計期間より「ファインメカトロニクス」及び「メカトロニクスシステム」それぞれに計上する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しております。